

市交際費の支出状況



令和3年9月分

支出種別	区分	件数	金額(円)
弔 慰	今月分 累 計	0 42	0 106,000
見 舞 い	今月分 累 計	0 0	0 0
御 祝	今月分 累 計	0 4	0 22,480
賛 助	今月分 累 計	0 0	0 0
激 励 金	今月分 累 計	0 0	0 0
接 遇	今月分 累 計	0 32	0 68,240
会 費	今月分 累 計	0 2	0 14,000
そ の 他	今月分 累 計	0 0	0 0
合 計	今月分 累 計	0 80	0 210,720

※くわしくは市ホームページに掲載しています

問い合わせ

総務課 秘書係
☎75-2115

連
載

「ヤングケアラー」

中学生のおよそ17人に1人が、幼いきょうだいの世話をしたり、障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしたりといった、本来は大人が担うような家事や家族の世話を日常的に行っていることが、国の実態調査で分かりました。こうした子どもたちは「ヤングケアラー」と呼ばれています。

小学三年生の頃から病気の母親のケアを行っていたAさんは「少しでも母親を助きたい」という思いから、学校から帰宅すると洗濯物を取り込んで、スーパへ買い物に行き、夕食の準備をする生活を毎日送っていました。本人にとっては、家族の世話をすることは当たり前だと

tomoni ikiru

思っており、つらいと感じても相談できる人が誰もいなかったといいます。一見すると「よくお手伝いをする良い子」に見えるため周囲からは発見されづらく、また、子ども自身やその家族もヤングケアラーであることに気が付いていない場合もあります。実態調査で「やりたくてもできないこと」を尋ねると「自分の時間が取れない」「宿題や勉強の時間が取れない」「睡眠が十分に取れない」など、生活や学業に深刻な影響が出ていることも明らかになっています。

子どもは、命が大切にされ、教育を受け、暴力などから守られる権利があります。子どもに寄り添い、子ども目線に立った支援を考えることが大切です。

社会教育指導員 野中久美子

Message for citizen

温故
創新

市長コラム



もうひとふんばりのお話です。

10月18日東京都の新型コロナウイルス新規感染者が29人に減りました。直前1週間も2ケタ台で推移しています。

佐賀県内でも10月14日には95日ぶりに新規ゼロとなり、その翌日の15日もゼロでした。

でもここが正念場。もう一度感染予防の徹底が必要です。

10月18日の県内の新規感染状況は5人で、10歳未満3人、10歳代1人、40歳代1人です。最近近はワクチン接種できていない12歳未満の感染が目立つ傾向のようです。今後はワクチン接種の拡充などがさらに重要になるでしょう。未然に予防できる対策や態勢をどう確立できるかが大切になってきます。

最近の改善状況を受け、ようやく医療職関係の皆さんも同居家族での会食ができるようになってきたと知人に聴きました。これまでご家族も含む自粛

ありがとう。医療職のみなさん

市長 横尾 俊彦

10月19日 記

徹底等ご苦労の日々だったことに改めて感謝しました。また、医療機関や福祉施設にご家族が入所等なさっている方々もご苦心が絶えない日々だと思います。知人友人に医療職等の方がおられたら、感謝を伝えあうようにしたいものです。可能な範囲でいいのです。お願いします。

本号5頁に西溪校の校舎窓に大書で掲示された市立病院への感謝メッセージ「病院ではたらくみなさんありがとう」が掲載されています。子どもたちの発案で、やさしさが光ります。

感激した市立病院からは「メッセージをありがとう元氣百倍がんばります」とお返しもあります。まさに心の交流です。

日々変わり映えないように思えても、ニュースにならなくても、貴い仕事を担っていただいている方々が多数おられます。その御蔭で日常が成立しています。ありがとうございます。